

「保健所が行う市民公開講座」についてのアンケート 集計結果

□ 調査期間 平成24年6月11日～平成24年6月25日

和歌山市保健所では、公衆衛生の向上を目指した各種事業を実施しています。その事業のひとつとして、健康に関わる内容をテーマにした「市民公開講座」を実施しております。「市民公開講座」は、和歌山市保健所の大ホール等を会場に、シンポジウム、講演会等の形式で行っております。

過去には次のような「市民公開講座」を実施しました。

平成21年度

新型インフルエンザについて「新型インフルエンザの流行を乗り切ろう」

助産師外来及び院内助産所について「より豊かなマタニティライフを目指して」

平成22年度

子宮頸がんの予防について「若い女性の子宮頸がん予防について」

5歳児健診について「楽しい小学校生活を迎えるにあたって」

平成23年度

感染症予防について「女性をおびやかすウイルス感染」

子どもの心について「未来ある子どもたちの可能性を伸ばすために」

市民公開講座の今後の開催の仕方等について皆様のご意見をお聞きます。

□ 対象者数 225 (H24. 6. 11現在登録者数)

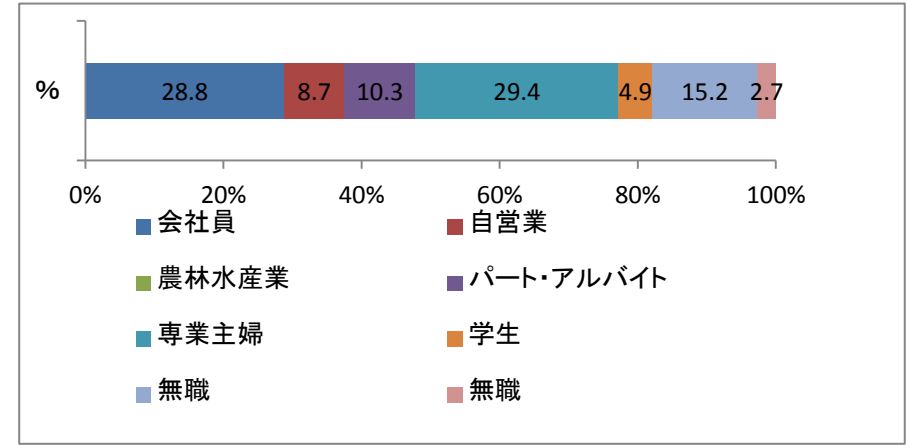
□ 回答者数 184

□ 回答率 81.8% (H24. 6. 25時点)

【職業】

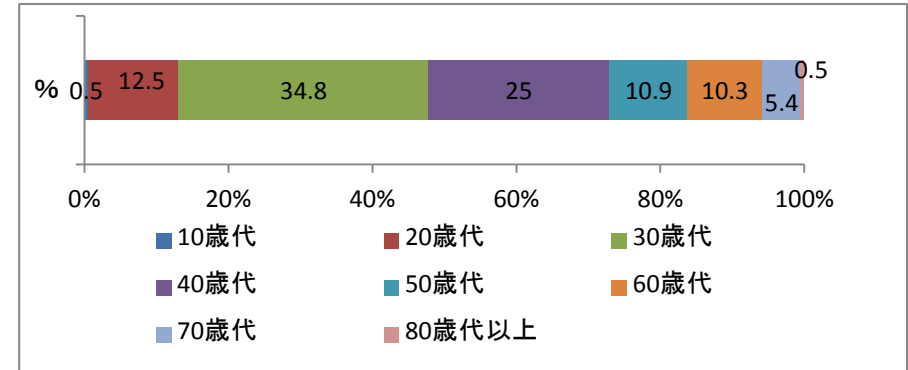
回答	回答数	%
会社員	53	28.8
自営業	16	8.7
農林水産業	0	0.0
パート・アルバイト	19	10.3
専業主婦	54	29.4
学生	9	4.9
無職	28	15.2
その他(コメント欄に具体的にご記入ください)	5	2.7
合計	184	100.0

- ・派遣社員
- ・年金受給者
- ・資格試験勉強中
- ・フリーランス
- ・医療関係者



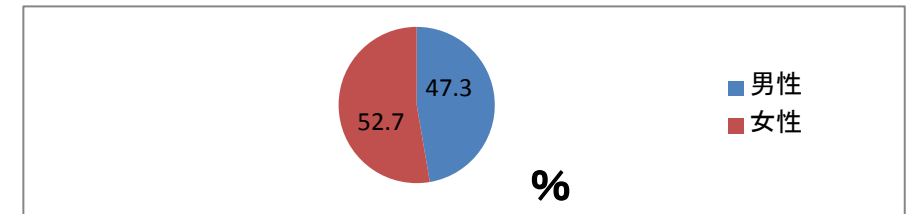
【年齢】

回答	回答数	%
10歳代	1	0.5
20歳代	23	12.5
30歳代	64	34.8
40歳代	46	25
50歳代	20	10.9
60歳代	19	10.3
70歳代	10	5.4
80歳代以上	1	0.5
合計	184	99.9



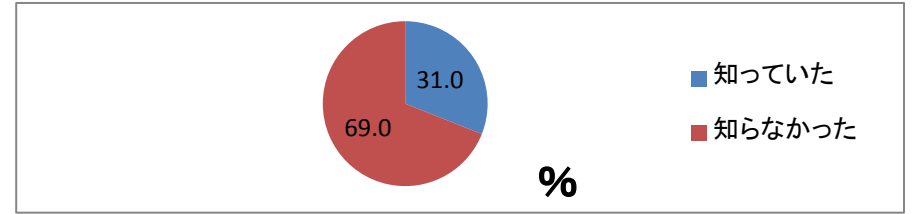
【性別】

回答	回答数	%
男性	87	47.3
女性	97	52.7
合計	184	100.0



Q1 和歌山市保健所が行う「市民公開講座」を知っていましたか。

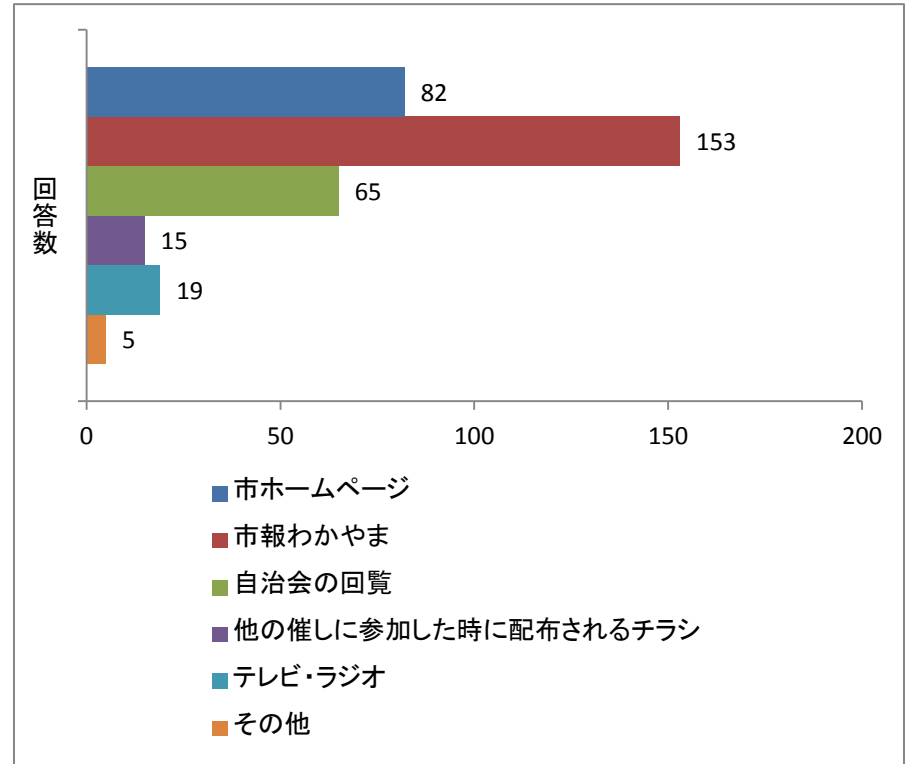
回答	回答数	%
知っていた	57	31.0
知らなかった	127	69.0
合計	184	100.0



Q2 和歌山市が行う催しの情報をどのような方法で入手していますか。

(複数回答)

回答	回答数	%
市ホームページ	82	44.6
市報わかやま	153	83.2
自治会の回覧	65	35.3
他の催しに参加した時に配布されるチラシ	15	8.2
テレビ・ラジオ	19	10.3
その他	5	2.7



Q2-1 Q2で「その他」とお答えいただいた方は、詳しくご記入ください。

- ・役所、親から
- ・市ホームページ以外のサイト
- ・リビング和歌山

Q3 「市民公開講座」に参加するとすれば、どのような講座を受けてみたいですか。
(複数回答)

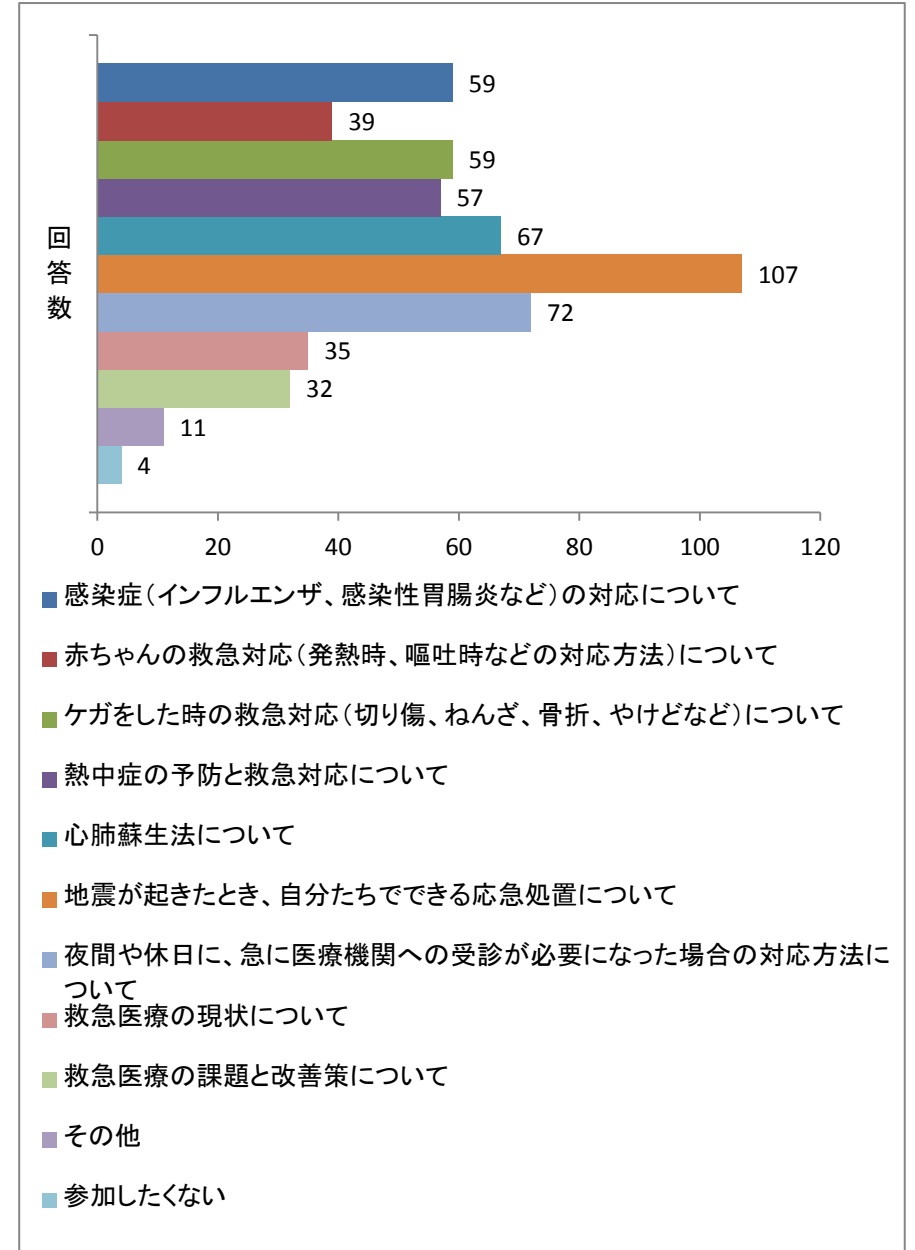
回答	回答数	%
感染症(インフルエンザ、感染性胃腸炎など)の対応について	59	32.0
赤ちゃんの救急対応(発熱時、嘔吐時などの対応方法)について	39	21.0
ケガをした時の救急対応(切り傷、ねんざ、骨折、やけどなど)について	59	32.0
熱中症の予防と救急対応について	57	31.0
心肺蘇生法について	67	36.4
地震が起きたとき、自分たちでできる応急処置について	107	58.2
夜間や休日に、急に医療機関への受診が必要になった場合の対応方法について	72	39.1
救急医療の現状について	35	19.0
救急医療の課題と改善策について	32	17.4
その他	11	6.0
参加したくない	4	2.2

Q3-1 Q3で「その他」とお答えいただいた方は、詳しくご記入ください。

<ul style="list-style-type: none"> ・食育講座 ・前年度の子どもの心について「未来ある子どもたちの可能性を伸ばすために」と同様の講座 ・公衆衛生の制度、歴史(世界、全国、和歌山で)の概要 ・自閉症など ・精神疾患 ・健康・生活に関するもの
--

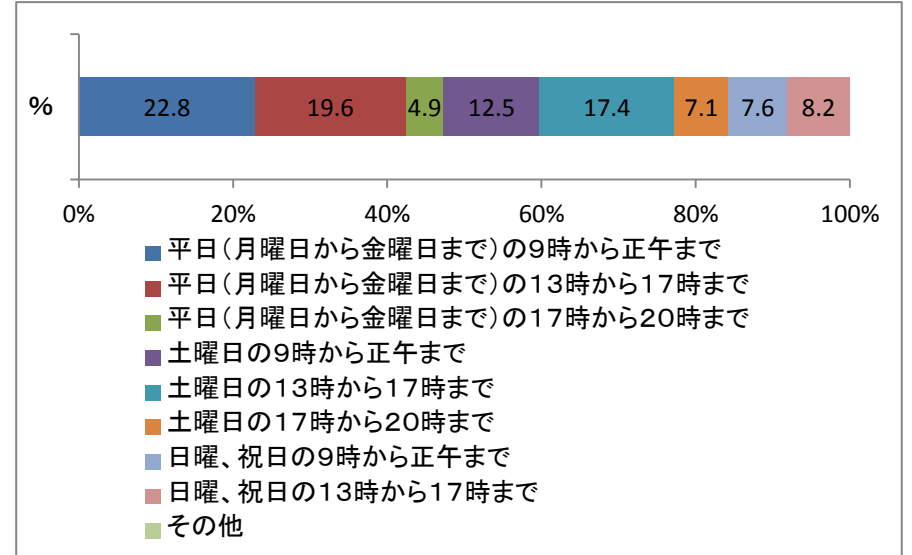
Q3-2 Q3で「参加したくない」とお答えいただいた方は、その理由を詳しくご記入ください。

<ul style="list-style-type: none"> ・特に興味のあるものがない ・ネットで気になることを調べたほうが早い ・日赤の県民大学のように年度始めに登録する連続講座にしたほうがいい ・乳幼児が家にいるため



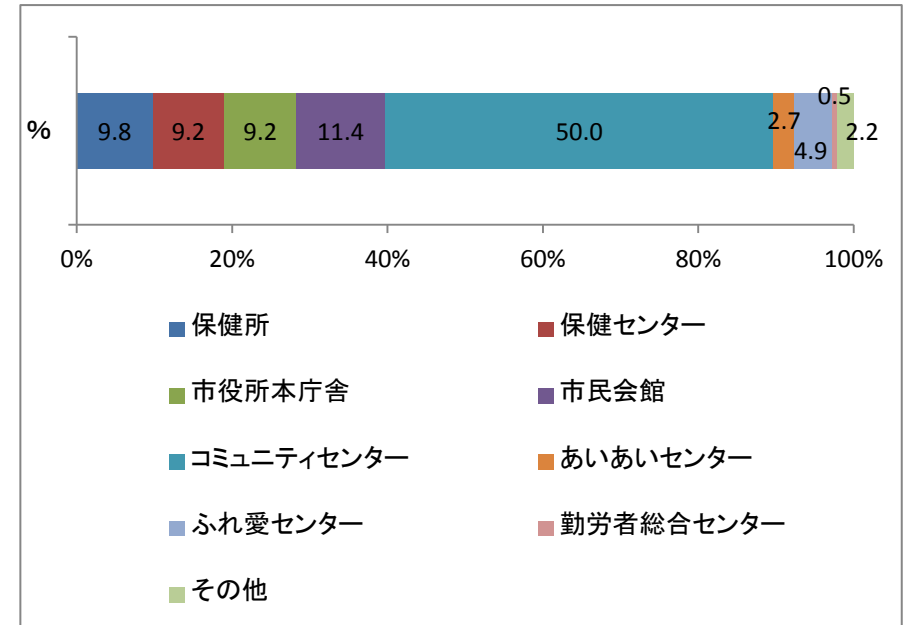
Q4 「市民公開講座」に参加するとすれば、どの時間帯が参加しやすいですか。

回答	回答数	%
平日(月曜日から金曜日まで)の9時から正午まで	42	22.8
平日(月曜日から金曜日まで)の13時から17時まで	36	19.6
平日(月曜日から金曜日まで)の17時から20時まで	9	4.9
土曜日の9時から正午まで	23	12.5
土曜日の13時から17時まで	32	17.4
土曜日の17時から20時まで	13	7.1
日曜、祝日の9時から正午まで	14	7.6
日曜、祝日の13時から17時まで	15	8.2
その他	0	0.0
合計	184	100.0



Q5 「市民公開講座」に参加するとすれば、参加しやすい会場はどこですか。

回答	回答数	%
保健所	18	9.8
保健センター	17	9.2
市役所本庁舎	17	9.2
市民会館	21	11.4
コミュニティセンター	92	50.0
あいあいセンター	5	2.7
ふれ愛センター	9	4.9
勤労者総合センター	1	0.5
その他	4	2.2
合計	184	100.0



Q6-1 Q6で「その他」とお答えいただいた方は、参加しやすいと思う会場をご記入ください。

- ・各支所
- ・松下会館、県立図書館
- ・ビック愛
- ・公民館

Q6 「市民公開講座」についてご意見等ありましたら、ご記入ください。

※主な意見を掲載しています

- ・応急診療センターが機能しているのか不安を持っています。救急とは他の民間機関サービスがカバーし得ない場合の公の役割を持っているのではないのでしょうか？受付時間帯などの広報が必要では？
- ・広く市民に知ってもらいたいことを、いろんな事例をもとに、どう対処したらいいのかわざらせることが大事。どこに行けばどんな対応がしてもらえるのかを広く市民に伝えること。
- ・今年の9月ごろに導入される予定のポリオの不活化ワクチンについての講座を近々実施して欲しい
- ・市民公開講座で話を聞くだけでなく、子供と一緒に遊びながら気軽に参加できるものであって欲しい。
- ・情報源を得やすいようにいろんな媒体を使って欲しい。
- ・赤ちゃん、子供に関する講座も大切です。子供を育てやすい和歌山市であって欲しい。
- ・開催は地区ごとに行って参加しやすい様に(特に子育てで忙しい方に)
- ・高齢者向きのテーマを少し取り入れてほしい。
- ・開催日時のタイミングの考慮(例:熱中症の講座であれば夏前に開催する)
- ・催しの情報を新聞(和歌山版)等でPR
- ・将来起こると予想される南海地震などの場合に、より被害を少なく抑えることができるような医療面での取り組みを積極的に行ってほしいです。
- ・このような講座が開催されて少しでも知らない人に知識がつくと良いと思うので良いですね
- ・自治体等が行う出前講座や公開講座には、担当の方々の努力もあって啓蒙的で役立つものも多々ある。だけど、内容、方法等の工夫や関連する情報の伝達や開催ないしは盛り上げるためのPRなど検討の余地があるかも、と思います。
- ・初めてこういう講座があることを知りました。あまり和歌山にはこういうのがないと思っていたので情報の開示をもっとわかりやすいところでしたらうれしいです。
- ・今まで市民公開講座に関心がなかったのを見落としていた。今年は減災のための講座をして欲しい。
- ・市民公開講座のテーマに合わせて対象年齢などを定めてみると、ピンポイントで濃厚に知識が伝わるのではないかな。
- ・「市民公開講座」に託児サービス(無料ボランティア)があれば参加できる人も多いと思う。
- ・育児の講座があれば参加したいです。子供の預かりがあれば助かる。
- ・仕事をしているので参加は難しいと思いますが、時間があり、興味のある講座なら参加してみたいと思います。
- ・ホームページで動画として見る事が出来れば、時間に制約されずありがたい。
- ・健康チェックコーナー併設のものが良い。
- ・主婦は子どもが学校に行っている時間帯が家を空けやすく、仕事を持っている人は休日がいいのだから、平日と休日の2回開催すればいいと思う。
- ・実際に公開講座に参加した人の感想を聞いて役に立つと思うなら、私も参加してみたいので、市報などに参加者の意見を載せてほしい。
- ・がんについてもっと詳しく知りたい
- ・いつも参加したいと思っても、参加できない時間帯だったので、ぜひ違った時間帯の実施をお願いします。
- ・身近な疾患に対して分かりやすい講義内容でお願いしたい
- ・公開講座が開かれていること自体知らなかったの、今後知る機会があれば、ぜひ参加してみたいと思いました。
- ・議題によっては、本当に一部の年代しか興味を持っていないようなものもあり、公開講座自体の意義が今一つ分かりません。自分の世代では、欲しい情報を欲しいときに調べられる環境にあるので、余計にそう思うのかもしれません。しかし、相談をしたいと思うことはあるので、講義よりは、相談会などのほうが開催されれば嬉しいとは思いました。テーマも、絞ってしまうよりも、女性の病気、40~50代の健康について、応急措置、子供のよくかかる病気とその症状、癌の早期発見のポイント、など、ざっくりしたテーマでの、個別相談ができる機会があれば、参加しやすいのでは？と思いました。
- ・年配の方が参加するイメージがあり、行きにくい気がする。
- ・できるだけ大勢の人に参加してもらえることを主眼に計画していただきたい。家庭の場合は、主婦が家族の健康管理の重要な役割を担っているケースが多いと思います。その方たちが参加しやすい日程を最大限考慮すべきだと思います。テーマにもよると思います。主催する方々は休日出勤となりご苦労ですがよろしくをお願いします。

- ・色々な講座を定期的にしたらどうか。
- ・著名人、有名人、芸能人を呼んで、講演会をしてもらったり、若い世代にも気軽に来てもらえるよう「市民公開講座」という名称を変更する。また、参加したら特典が付く、プレゼントを出すなどすれば、参加者が増えると思います。
- ・マンションのため市報が届かず、情報がありません。ネットで見ていますがもっと情報が手に入りやすいと嬉しいです。
- ・別に必要性を感じない。
- ・過去三年間の「市民公開講座」は、保健所にて主に若い女性を対象とした講演会が実施されているように感じます。できれば、より多く幅広い世代の市民が参加できるように、市内各地区のコミュニティセンターで、「市民公開講座」を開催して頂ければと思います。
- ・開催場所はできるだけ分散した方が良い。
- ・今まで一度も参加したことがありませんでしたが、次回からは是非参加してみたいと思っています。
- ・広報が不足してるのかな。市の催事は結構ホームページや市政だよりに掲載してるからって感じが多いけど自治会活動の無い地域の人には市政だよりが配布されてない現実をご存知でしょうか。このような市民講座は賃貸の集合住宅に住んでいる子育て世代にこそ必要ではないでしょうか。
- ・「講座を受けました」という終了証明カードを発行してはどうか？
- ・今後の和歌山のあり方もしくは和歌山の強調すべき点がどこなのかをみんなで考えていくような公開議論が必要だと思います。